# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-060076

(43) Date of publication of application: 16.03.1987

(51)Int.Cl.

G06K 17/00

(21)Application number: 60-200256

(71)Applicant: CASIO COMPUT CO LTD

(22) Date of filing:

10.09.1985

(72)Inventor: SUZUKI HIDEO

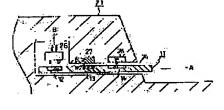
## (54) READING AND WRITING SYSTEM FOR IC CARD

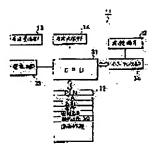
### (57)Abstract:

PURPOSE: To eliminate adverse influence exerted owing to imperfection of connection between an IC card and a card terminal by providing the IC card itself with a function which outputs an oscillating wave and an input function for the oscillating wave.

CONSTITUTION: When the IC card 11 is inserted into the card terminal 21, an acoustic wave transmitting part 27 transmits an ultrasonic wave signal. This signal is received by an acoustic wave receiving part 13 and supplied to a CPU 31 through a rectifying circuit 33. The CPU 31 transmits an ultrasonic wave obtained by its internal oscillation circuit through an acoustic wave transmitting part 14. This signal is received by the acoustic wave receiving part 28 on the side of the card terminal 21. When the energy level of this signal is higher than a specific level, a contact probe 26 is driven downward to make a connection with the connection terminal 12 of the card 11. Consequently, adverse influence

due to imperfection of the connection between the IC card and card terminal is eliminated.





#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

# Searching PAJ

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

## ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62-60076

@Int,Cl,4 G 06 K 17/00

識別記号

庁内整理番号

國公開 昭和62年(1987) 3月16日

6711-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

の発明の名称

ICカードのリードライト方式

②特 願 昭60-200256

②出 願 昭60(1985)9月10日

母 発明者 鈴木

秀 夫

東京都西多摩郡羽村町栄町3丁目2番1号 カシオ計算機 株式会社羽村技術センター内

①出 願 人 カシオ計算機株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

特許法第65条の2第2項第4号の規定により図面第1図の一部は不掲載とする。

1. 発明の名称

I Cカードのリードライト方式

#### 2. 特許購求の範囲

3. 発明の詳細な説明

[発明の技術分野]

この発明は、例えば銀行等の金融機関が発行するキャッシュカードあるいはクレジットカードとして利用されるICカードをそのカードターミナルに対して接続する際に使用されるICカードのリードライト方式に関する。

#### [従来技術とその問題点]

な I C カードを使用して実際に取引を行なう場合には、銀行あるいは商店等に設置した I C カードターミナルに I C カードを装着し、暗証番号等を入力してカードおよびカード所有者の正当性を確認した後、所定の処理動作が行なわれるようにしている。

ここで、上記ICカードとICカードターミナルとの接続方式は、一般にコネクタ式、つまりICカードの一般面に平面的に形成された接続な 子に対して、カードターミナル側からコンタクト プローブなる接触子を接触させる方式をとっている。これによりカード及びターミナル側の情報交 換処理が行なわれるよにしている。

しかし、上記コンタクトプローブは、カードターミナルに対してICカードが挿入されるとと、無条件で上記カード関の接続増子に対して接触動作を開始するように構成されているため、例えば ICカードの挿入位置にずれがあった場合や、製品関格の異なるICカードが挿入された場合等には、カード側の幌子郎に顕像が生じたり、ノイズ

第1回は1Cカードのリードライト方式を用いた1Cカード11の外観構成を示すもので、この1Cカード11には、例えば銀行等に設置されるカードターミナルと電気的接続を図るための接続ポチ12が設けられている。また、この1Cカード11には、1Cカード識別用の超音を復信の上のよりであるための音波受信が13および音波送信が14が設けられている。

第2図は、上記ICカード11が装着されるカードターミナル21を示すすりで、 このカード22のカード22を示すない かった ないから といった はいから でいる。 上記 キーボ はいから でいる。 上記 キード の で 第 の PIN(Personal Ichnoria で で ないの PIN(Personal Identification Number)を入力するのに 使

の発生により各内部回路に 無影響を及ぼす 暴れが ある。

#### [発明の目的]

この発明は上記のような問題点に構みなされたのので、カードターミナルに対する I C カードの 規格および接続 増子位置が一致しない 場合には、I C カードとの接続を実行することなく、カードに対する感影響を未然に防止することが可能となる I C カードのリードライト方式を提供することを目的とする。

#### [発明の要点]

すなわちこの発明に係わる1Cカードのリードライト方式は、1Cカード自身に伝動波を入力の出出でいる機能を持たせると共に、この提動波の入力機能をカードターミナルに持たせ、上記入力を設立したことが出して、1Cカードとカードターミナルとの接続を図るように構成したものである。

#### [ 発明の実施例]

以下図面によりこの発明の一実施例を説明する。

用されるもので、この暗証番号PINは、カード所有者により任意に設定される所定文字数のコードである。また、上記カード挿入口24には、ICカード11が矢印Aで示す方向に輝入装替され、カードターミナル21の内都回路との電気的接続が図られるようになっている。

が正常位置に装着されたと判断し、上記コンタク トプロープ26によるICカード11との接触動 作を開始させる。

次に、第4回により上記!Cカード11の回路 構成について説明する。

**同図において、31は中央演算処理装置であり、** この処理装置31には、データメモリ32が接続 される。このデータメモリ32は、例えばEEP - R O M にて構成され、本人照合チェックの際に 使用される暗証番号「P「N」、また実際の金銭 取引きの原に使用される銀行講座No等の情報、 そしてその他、住所、氏名、電話番号等のあらゆ る個人情報が記憶されるもので、これら多数の情 報は、図示しないカードターミナルとの情報交換 時において、上記処理装置31により必要に応じ て統出される。また、上記中央領算処理装置31 には、整次回路33を介して上記第1回および第 3 図における音波受信部13が接続されると共に、 一方では音波送信邸14も接続される。上記音波 受信部13は、上記カードターミナル21例に設

身を入力するもので、この受信<br />
郎13により入力 した超音波信号の振動波エネルギは、整流回路3 3を介して電気エネルギに変換され、動作電源と して上記中央波舞処理装置31に供給される。こ の中央演算処理装置31は、上記整流回路33よ り供給される動作電顔により駆動され、その内部 発掘回路にて持られる超音波信号をカード無別信 **易として送信部14を介して送信出力するもので、** この送信却14より出力された組音波信号は、上 記カードターミナル21例に設けられた音波受信 郎28により受信入力される。一方、上記中央領 弊処理装置31による内部処理情報は、必要に応 じてインターフェイス部34および接続端子12 を介してカードターミナル21との間でやりとり 次に、第5回により上記カードターミナル21

けられた音波送偶郎 2 7 より送信される超音波偶

の回路構成について説明する。

向図において31は中央演算処理装置であり、 この処理装置31には、キーボード22の制御を

行なう入力制御部42および表示部23の制御を 行なう表示制御部43が接続される。また、上記 中央複算処理装置41には、上記第3回における カード挿入口24内に設けられた音波送信部27 および音波受信部28が接続されるもので、処理 ・装置41内の発掘回路により得られる超音波信号 は、上記音放送信部27を介して送信され、また 上記音波受信部28を介して受信される超音波信 **号は、処理装置41の内部にてその信号エネルギ** · レベルが判別される。この場合、中央演算処理装 置41は、上記音波受貨部28を介して入力され る紐音波信号のエネルギレベルが、所定エネルギ レベル以上に達したことを検出するもので、この 所定エネルギレベル以上到達の検出結果に基づき、 接続ヘッド駆動部44に対してICカードコンタ クト信号を供給する。この接続ヘッド駆動部44 は、上記中央演算処理装置41より供給される 1Cカードコンタクト借身に応じて、コンタクト プロープ 2 8 を機械的に下降助作させるものであ

ここで、上記中央演算処理装置41により設定 される所定のエネルギレベルは、例えばこのカー ドターミナル21のカード挿入口24に対して 10カード11が正常に挿入装着された状態にお いて、ICカード11の音波送信郎14より最低 レベルにて送信される経音波信号が、カードター ミナル21の音波受信部28にて入力された場合 の入力エネルギレベルに相当するものである。

一方、上記コンタクトプロープ26によるIC カードコンタクト後の、上記中央演算処理装置4 1による内部処理情報は、インターフェイス部4 5 およびコンタクトプロープ 2 6 を介して 1 C カ ード11との間で交換処理される。

次に、上記のようにしてICカードのリードラ イト方式を用いて構成されたICカード11とカ ードターミナル21との接続動作について説明す

はじめに、例えばカード所有者が上記1Cカー ド11をキャッシュカードとして用い、銀行にて 股置されるカードターミナル21を利用して預金

ここで、上記処理装置41は、音波受信部28

を介して入力される母音波信号のエネルギレベル

が、所定エネルギレベル以上に達したか否かを判

別するもので、この恩、カード挿入口24に対す

るICカード11の挿入位置が正常なカード装着

位置に到達し、各送受信部間27→13、14→

28の租音波信号の送受信状態が良好な状態にな

ると、上記ICカード11からターミナル21朗

に入力される超音波信号のエネルギレベルは所定

エネルギレベル以上に到達し、中央演算処理装置

41は投続ヘッド駆動郎44に対してICカード

コンタクト信号を供給する。これにより、カード

押入口24内のコンタクトプローフ26が下降動

作し、ICカード11の接続端子12との電気的

後続が図られるようになる。これにより、例えば

PINによる本人照合確認等の情報交換処理がカ

ード11→ターミナル21周で開始されるように

実際の預金取引きに移行する以前の略証番男

を下ろす場合には、まずカード所有者がICカー ド11をカードターミナル21のカード挿入口2 4に対して挿入する。ここで、上記「Cカード1 1がカード挿入口24内に挿入されたことは、カ ード ターミナル 21 関の 図示し ない マ イ クロスイ ッチ客により検出され、カードターミナル21は、 このICカード11の挿入検出と同時に音波送信 郎27を介して超音波信辱を送信する。このカー ドターミナル21個の音波送信節27からの超音 波信号は、前記第3図にて示すように、ICカー ド11例の音波受信部13にて受信されるように なるもので、この音波受信部13にて受信された 超音波信号は整流回路33を介して電気エネルギ に変換され、動作電源として中央演算処理装置3 1に供給される。すると、この処理装置31は、 その内部発振回路にて得られる超音波信号を、カ ード顕別信号として音波送信郎14を介して送信 するもので、このICカード11からのカード識 別用の超音波信号はカードターミナル21個の音 波受信郎28に受信され、中央演算処理装置41

により、ICカードとカードターミナルとの個の データ接受の信頼性をさらに向上することができ るようになる。

したがって、例えば「Cカード11がカード神 入口24内に確実に装着されない場合や、あるい は!Cカード自体規格の異なるカードである場合 には、カードターミナル21側の音波受信部28 に対して所定エネルギレベル以上の超音波信号が 入力されることはないので、コンタクトプローア 2 6 は I C カード 1 1 との接続動作には移行せず、 接続不備により発生する悪影響を未然に防止する ことができる。

第1 図はこの発明の一実脆例に係わる I C カー ドのリードライト方式を用いて構成されたICカ ードを示す外機構成図、第2図は上記 I Cカード のリードライト方式を用いて構成されたカードタ ーミナルを示す外観構成図、第3図は上記第2図 におるカードターミナルのカード挿入口の内部構 成を示す断面図、第4図は上記第1図における [ Cカードの内部回路を示すプロック構成図、第 5 図は上記第2図におけるカードターミナルの内 郎回路を示すプロック構成図である。

# [発明の効果]

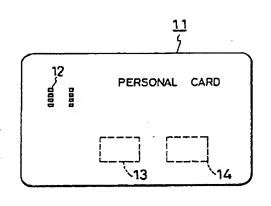
1 1 … 1 C カード、 1 2 … 接続帽子、 1 4 … カ - ド 側 音 波 送 信 部 、 2 1 … カ ー ド タ ー ミ ナ ル 、 24…カード挿入口、26…コンタクトプローブ、 28 … ターミナル 剛 音 波 受 怪 郎 、 3 1 … カード 側 中央演算処理装置、41…ターミナル側中央演算 処理装置、44…接続ヘッド駆動部。

以上のようにこの発明によれば、ICカード自 身に振動波を出力する機能を持たせると共に、こ の援動波の入力関能をカードターミナルに持たせ、 上記入力援助彼エネルギが所定エネルギレベル以 上に違したことを検出して、ICカードとカード ターミナルとの接続を図るように構成したので、 カードターミナルに対する「Cカードの規格およ び接続帽子位置が一致しない場合には、ICカー ドとの接続を実行することなく、カードに対する 恩影響を未然に防止することが可能となる。これ

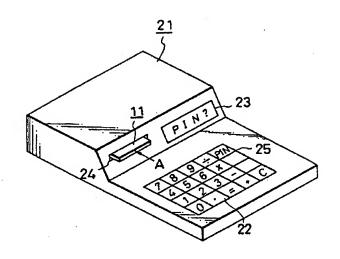
に入力される。

なる。

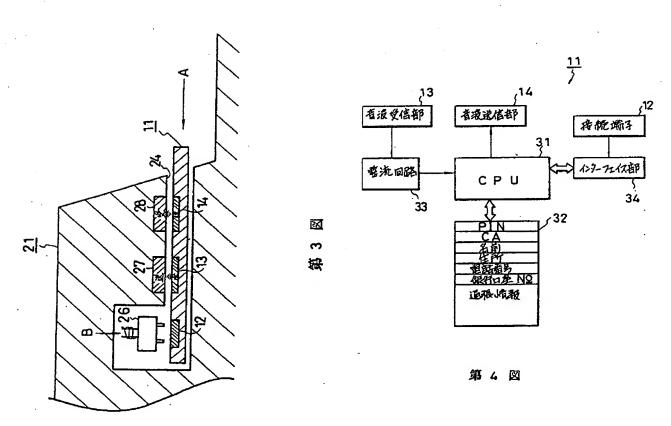
4. 図面の簡単な説明



第1図

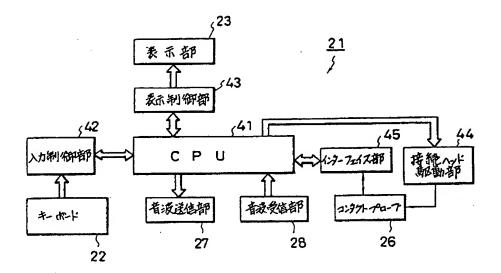


第 2 図



-433--

6/15/2007, EAST Version: 2.1.0.14



第 5 図